

山成酒造店舗兼主屋、離れ座敷、内蔵、蔵、東仕込蔵、西仕込蔵



店舗兼主屋



離れ座敷



蔵

指定区分	国登録有形文化財(建造物)
読みかた	やまなりしゅぞうてんぽけんおもや、はなれざしき、うちぐら、くら、ひがししこみぐら、にししこみぐら
所在地	井原市芳井町
登録年月日	令和6年3月6日
解説	<p>山成家は代々庄屋を務めた家柄で、文化元(1804)年に酒造業を開始。明治10(1877)年に火災により多くを焼失したが再建され、離れ座敷は大正4(1915)年に増築された。</p> <p>店舗兼主屋は二階建切妻造棧瓦葺(きりづまづくりさんがわらぶき)。外壁は漆喰塗(しっくいぬり)で二階腰に海鼠壁(なまこかべ)を廻らす。離れ座敷は平屋建、棧瓦葺で、床と違い棚を備えた上質な造り。内蔵・蔵は、いずれも小規模ながら通りに面し、歴史的な景観をつくる。東仕込蔵・西仕込蔵は二階建、棧瓦葺で、全体で長大な外観を呈し、大規模な姿が造り酒屋の景観をつくる。</p>
アクセス方法	井原鉄道井原駅から車(タクシー)で約10分
公開状況	予約制。300円/人(お酒の試飲付き)。
設備	 
備考	山成酒造公式サイトあり

きつずページ



店舗兼主屋



離れ座敷



蔵

していくぶん (指定区分)	国登録有形文化財(建造物)
ぶんかざいめい (文化財名)	山成酒造店舗兼主屋、離れ座敷、内蔵、 蔵、東仕込蔵、西仕込蔵
よみかた	やまなりしゅぞうてんぽけんおもや、はな れざしき、うちぐら、くら、ひがしこみぐら、 にしこみぐら
しょざいち (所在地)	井原市芳井町
とうろくしたひ (登録した日)	令和6年3月6日
せつめい	山成家は代々庄屋(しょうや)を務めた家 柄(いえがら)で、文化元(1804)年に酒 造業を始めました。明治10(1877)年に 火災で多くを焼失しましたが再建され、当 時の帳場(ちょうば)や瓶(びん)詰め場(店 舗兼主屋)、倉庫(蔵・内蔵)、貯蔵庫(東 仕込蔵)、作業場(西仕込蔵)などが残って います。離れ座敷は大正4(1915)年に 増築されたものです。 大規模な姿が造り酒屋らしい景観を伝え ています。